

科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 宇津木 洋子
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部1年Cクラス	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 1単位	
教員の略歴	日本語教育能力検定試験合格、中学校・高等学校教員専修免許取得(国語科・更新講習受講済)					
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、論理性・独自性・正確性・表現力を養います。 * 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 * 前期はプレゼンテーションができるようになることを目指します。 * 後期は日本語スピーチコンテストでの発表を目指します。					
到達目標	1. 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 2. 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 3. チーム制作で発表原稿を作れるようになる。 4. セルフマネジメント能力を身につける					
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と演習	日本語プレジメントテスト	
2	5月14日	講義と演習	自己紹介①自己紹介ができる	交換日記(記入と総評黙読)□
3	5月21日	講義と演習	自己紹介②クラスメイトの名前を覚える	交換日記(記入と総評黙読)□
4	5月28日	講義と演習	日本語学習の意義①今の能力と必要な能力を知る	交換日記(記入と総評黙読)□
5	6月4日	講義と演習	日本語学習の意義②学習法を紹介する	交換日記(記入と総評黙読)□
6	6月18日	講義と演習	プレゼンへ向けて①緊張しない工夫をする	交換日記(記入と総評黙読)□
7	6月25日	講義と演習	プレゼンへ向けて②持ち時間に合わせて話す	交換日記(記入と総評黙読)□
8	7月2日	講義と演習	プレゼンに向けて③自分の意見を述べる	交換日記(記入と総評黙読)□
9	7月9日	講義と演習	プレゼンに向けて④論理的に話す	交換日記(記入と総評黙読)□
10	7月16日	講義と演習	プレゼンに向けて⑤質疑応答をする	交換日記(記入と総評黙読)□
11	9月3日	講義と演習	プレゼンテーション①グループ発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
12	9月10日	講義と演習	プレゼンテーション②グループ発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
13	9月17日	講義と演習	プレゼンテーション③個人発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
14	9月24日	試験	プレゼンテーション④個人発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント				

科目名	デザインベーシック I A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	菊池信二
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部一 1年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2単位		
教員の略歴	デザインプロダクションを経て、グラフィックデザイン、イラストレーション、店舗壁画などのクリエイティブワークを幅広く活動。						
授業の学習 内容	平面構成(輪郭線やタッチ、ディテールを使わず、色面のみによる画面構成)の実習を通し、色と形の基本を学ぶ。ポスターカラーによる表現(手作業)の実習を通し、PC作業以前に必要な本質的な基礎力と忍耐力をつける。アイデアラフ～下描き～彩色～仕上げといった作業の流れを把握し、定められた期間内で作品を完成させる自己管理能力を高める。						
到達目標	色(明度・色相・彩度・トーン等)と形(直線・曲線・シルエット等)の特徴を理解し、それらを活かしたバランス良い画面構成ができるようになる。 手順に沿った丁寧なアナログ作業ができるようになる。 また、完成にむけ各工程の時間配分ができるようになる。						
評価方法と基準	課題評価点数70% 準備学習15% 時間外学習の評価15% なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしない。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義と実技	・自己紹介 ・授業の流れ、使用画材についてのガイダンス	
2	5月13日	講義と実技	・「明度」についての講義 ・グレースケールの作成演習 ■提出	・グレースケールによる演習
3	5月20日	講義と実技	・「色相」についての講義 ・12色相環の作成演習 ■提出	・12色相環の着彩
4	5月27日	講義と実技	・「彩度」「トーン」についての講義・平面構成のポイント を説明 ・異なるトーンによる平面構成の作成(アイデア出し)	・平面構成のアイデア
5	6月3日	実技	・異なるトーンによる平面構成の作成 (ラ フデザイン、配色プラン)	・平面構成の配色プラン
6	6月10日	実技	・異なるトーンによる平面構成の作成(下描き、着彩)	・平面構成の着彩
7	6月17日	実技	・異なるトーンによる平面構成の作成(着彩、仕上げ) ■提出	・ペン画による演習
8	6月24日	講評	・グレースケール・12色相環・トーン の 平面構成の講評	
9	7月1日	講義と実技	・「色と形のイメージと心理的効果」について講義 ・「暖かい/冷たい」を表現した平面構成の作成(アイデ ア出し)	・平面構成のアイデア
10	7月8日	実技	・「暖かい/冷たい」を表現した平面構成の作成 (ラフ デザイン、配色プラン)	・平面構成の配色プラン
11	7月15日	実技	・「暖かい/冷たい」を表現した平面構成の作成 (下描 き、着彩)	・平面構成の着彩
12	9月2日	実技	・「暖かい/冷たい」を表現した平面構成の作成 (着 彩、仕上げ)	・平面構成の着彩
13	9月9日	実技	・「暖かい/冷たい」を表現した平面構成の作成 (着 彩、仕上げ) ■提出	・平面構成の着彩
14	9月16日	講評	・ペン画による線画・「暖かい/冷たい」の 平面構成の講評	
15	9月30日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
課題内容や資料のプリントを随時配布。講義の授業ではテキスト「DESIGN BASIC」を持参のこと。				

科目名	デッサン I B	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	郷治
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部ー 1年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90時間 3単位		
教員の略歴	東京芸術大学油画卒業／画家						
授業の学習 内容	イラストを描く上での基礎体力としてのデッサン力を磨きます。 デッサンの基礎は観察力です。目の前の情報から何をどう受け取って画面に取り入れるのか、この授業ではその初歩を身につけることを目的とします。その経験にともなって、描写力は自然とついてきます。デッサン力がイラストなど作品にどう活きるのか、知識と技術を、経験として学んでいきます。						
到達目標	道具の適切な扱い方の修得。 デッサンの用語とその意味の理解。 先入観にとらわれない、客観的な「観て描く」姿勢の修得。						
評価方法と基準	「形態」「空間・光」「質感」「構図」 上記項目を表現出来ているかを評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	デッサンについて/言葉で伝える/クロッキー	人物クロッキー
2	4月21日	実技	石膏デッサン(首像)	人物クロッキー
3	4月28日	実技	〃	人物クロッキー
4	5月12日	実技	3色スケッチ(稜線と陰影の話)	人物クロッキー
5	5月19日	実技	風景スケッチ(雨天時友人クロッキー)	人物クロッキー
6	5月26日	実技	風景スケッチ(雨天時友人クロッキー)	人物クロッキー
7	6月2日	実技	ヌードクロッキー	人物クロッキー
8	6月9日	実技	〃	人物クロッキー
9	6月16日	実技	「リンゴ」デッサン	人物クロッキー
10	6月23日	講義・演習	構成の話/狙いを持ったクロッキー	人物クロッキー
11	6月30日	実技	「ワイン瓶」デッサン(もしくは写真模写)	人物クロッキー
12	7月7日	実技	「ワイン瓶」デッサン(もしくは写真模写)	人物クロッキー
13	9月1日	実技	「立方体とスチールパイプ」デッサン	人物クロッキー
14	9月8日	実技	「立方体とスチールパイプ」デッサン	人物クロッキー
15	9月16日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ デッサン用具一式(鉛筆・練りゴム・ガーゼもしくはティッシュ)				

科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 宇津木 洋子
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部1年Aクラス	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 1単位	
教員の略歴	日本語教育能力検定試験合格、中学校・高等学校教員専修免許取得(国語科・更新講習受講済)					
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、論理性・独自性・正確性・表現力を養います。 * 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 * 前期はプレゼンテーションができるようになることを目指します。 * 後期は日本語スピーチコンテストでの発表を目指します。					
到達目標	1. 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 2. 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 3. チーム制作で発表原稿を作れるようになる。 4. セルフマネジメント能力を身につける					
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と演習	日本語プレースメントテスト	
2	5月14日	講義と演習	自己紹介①自己紹介ができる	交換日記(記入と総評黙読)□
3	5月21日	講義と演習	自己紹介②クラスメイトの名前を覚える	交換日記(記入と総評黙読)□
4	5月28日	講義と演習	日本語学習の意義①今の能力と必要な能力を知る	交換日記(記入と総評黙読)□
5	6月4日	講義と演習	日本語学習の意義②学習法を紹介する	交換日記(記入と総評黙読)□
6	6月18日	講義と演習	プレゼンへ向けて①緊張しない工夫をする	交換日記(記入と総評黙読)□
7	6月25日	講義と演習	プレゼンへ向けて②持ち時間に合わせて話す	交換日記(記入と総評黙読)□
8	7月2日	講義と演習	プレゼンに向けて③自分の意見を述べる	交換日記(記入と総評黙読)□
9	7月9日	講義と演習	プレゼンに向けて④論理的に話す	交換日記(記入と総評黙読)□
10	7月16日	講義と演習	プレゼンに向けて⑤質疑応答をする	交換日記(記入と総評黙読)□
11	9月3日	講義と演習	プレゼンテーション①グループ発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
12	9月10日	講義と演習	プレゼンテーション②グループ発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
13	9月17日	講義と演習	プレゼンテーション③個人発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
14	9月24日	試験	プレゼンテーション④個人発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント				

科目名	日本語コミュニケーションN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 壮
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部一1年Aクラス	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	玉川国際学院 局長						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※後期は日本語スピーチコンテスト・えどがわーどでの発表を目指します。						
到達目標	①日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 ②日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1)出席率 50% ※授業態度不良の場合は出席率から減点対象とする。 2)評価点 50% ①コンセプト ②クリエイティビティ ③プレゼンテーション ※提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月末	講義と演習	プレイメントテスト	
2	5月13日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(1)	交換日記(記入と総評黙読)
3	5月20日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(2)	交換日記(記入と総評黙読)
4	5月27日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(3)	交換日記(記入と総評黙読)
5	6月3日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(1)	交換日記(記入と総評黙読)
6	6月17日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(2)	交換日記(記入と総評黙読)
7	6月24日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(3)	交換日記(記入と総評黙読)
8	7月1日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
9	7月8日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
10	7月15日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
11	9月2日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
12	9月9日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
13	9月16日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
14	9月30日	試験	プレゼンテーション試験	交換日記(記入と総評黙読) 課題制作(試験課題は前回授業のもの)
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習		前授業の復習および提示課題制作□		
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント及びデータにて配布				

科目名	デッサン I D	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 鈴木 弥栄子
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部ー 1年Bクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2単位	
教員の略歴	東京藝術大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了。画家。					
授業の学習 内容	最終的に輪郭と色面で平面的に表現するとしても、その過程で対象を立体的に捉えることが重要である。 デッサンで対象の観察・描写・修正という一連の作業を反復することで、正確に形を捉える技術・質感描写・陰影描写・画面 構成力を獲得する。また、クロッキーで人体の構造を把握しながら、限られた時間の中での集中力と表現力を鍛える。					
到達目標	基礎的な観察力、描写力を身につけることを目標とする。 様々なモチーフを描いてみることで、デッサンやクロッキーを重ねることで、絵を描くことへの苦手意識をなくし上達する楽しさを実感してもらいたい。 社会人基礎力として出席率も重視する。					
評価方法と基準	評価点(課題評価): 100%(作品提出率、客観的完成度、学生各自の習熟度)					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)		
1	4月21日	実技	ガイダンス/画材説明/クロッキー	1ポーズ20分のクロッキーを1週間に3枚描く		
2	4月28日	実技	屋外スケッチ			
3	5月12日	実技	デッサン(りんご) 制作時間:2.5h			
4	5月19日	実技	円柱と立方体のスケッチ 制作時間:2.5h			
5	5月26日	実技	逆さま写真模写 制作時間:2.5h	逆さま写真模写を完成させる		
6	6月2日	実技	モデルデッサン(立ち) 制作時間:2h			
7	6月16日	実技	透明化・単純化クロッキー/こんにやく人間	復習		
8	6月23日	実技	女性ヌードクロッキー	資料準備		
9	6月30日	実技	イラスト模写① 制作時間:6h			
10	7月7日	実技	イラスト模写②	イラスト模写を完成させる		
11	7月14日	実技	デッサン(折りたたみイス) 制作時間:2.5h	1ポーズ10分のクロッキーを1週間に5枚描く		
12	9月1日	実技	デッサン(ガラスのコップ) 制作時間:2.5h			
13	9月8日	実技	デッサン(靴)① 制作時間:4.5h			
14	9月15日	実技	デッサン(靴)②/講評			
15	9月22日	試験	課題評価試験			
準備学習 時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】 □						
プリント配布						

科目名	コミュニケーションスキルアップ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部ー 1年Bクラス	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。放送大学卒業。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習 内容	社会人になってるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。プレゼンテーション、チーム企画などの力をつける。研修先で必要なコミュニケーション力をつける。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書をかけるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果50%出席率50%(出席率を点数化。ただし公欠による欠席は出席としてカウントします。遅刻が多い場合も減点態度となりますが、遅延の場合を除きます)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	グループワーク:授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	4月27日	講義・演習	グループワーク:好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5月11日	講義・演習	1対1ワーク:トランプトーク。聴く話すの基本を学ぶ	教科書2章を読む
4	5月18日	講義・演習	グループワーク:WHO am I。自己分析	教科書2章を読む
5	6月1日	講義・演習	個人ワーク:エゴグラム。心理テスト	授業後、自己分析のまとめ
6	6月8日	講義・演習	グループワーク:言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6月15日	講義・演習	プレゼン:おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6月22日	講義・演習	グループワーク:日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
9	6月29日	講義・演習	グループワーク:ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
10	7月6日	講義・演習	グループワーク:ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7月13日	講義・演習	グループワーク:もし~がなかったら。プレスト会議の基礎	教科書3章を読む
12	7月20日	講義・演習	グループワーク:How much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	9月7日	講義・演習	グループワーク:なぞの宝島・わたしのイメージ	教科書3章を読む
14	9月14日	試験	前期理解度試験	
15	9月21日	講義	全体まとめと反省	
準備学習 時間外学習			基本的には教科書を授業前、後で目を通しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
CSU教科書、配布資料				

科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 宇津木 洋子
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部1年Bクラス	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 1単位	
教員の略歴	日本語教育能力検定試験合格、中学校・高等学校教員専修免許取得(国語科・更新講習受講済)					
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、論理性・独自性・正確性・表現力を養います。 * 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 * 前期はプレゼンテーションができるようになることを目指します。 * 後期は日本語スピーチコンテストでの発表を目指します。					
到達目標	1. 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 2. 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 3. チーム制作で発表原稿を作れるようになる。 4. セルフマネジメント能力を身につける					
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と演習	日本語プレジメテスト	
2	5月14日	講義と演習	自己紹介①自己紹介ができる	交換日記(記入と総評黙読)□
3	5月21日	講義と演習	自己紹介②クラスメイトの名前を覚える	交換日記(記入と総評黙読)□
4	5月28日	講義と演習	日本語学習の意義①今の能力と必要な能力を知る	交換日記(記入と総評黙読)□
5	6月4日	講義と演習	日本語学習の意義②学習法を紹介する	交換日記(記入と総評黙読)□
6	6月18日	講義と演習	プレゼンへ向けて①緊張しない工夫をする	交換日記(記入と総評黙読)□
7	6月25日	講義と演習	プレゼンへ向けて②持ち時間に合わせて話す	交換日記(記入と総評黙読)□
8	7月2日	講義と演習	プレゼンに向けて③自分の意見を述べる	交換日記(記入と総評黙読)□
9	7月9日	講義と演習	プレゼンに向けて④論理的に話す	交換日記(記入と総評黙読)□
10	7月16日	講義と演習	プレゼンに向けて⑤質疑応答をする	交換日記(記入と総評黙読)□
11	9月3日	講義と演習	プレゼンテーション①グループ発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
12	9月10日	講義と演習	プレゼンテーション②グループ発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
13	9月17日	講義と演習	プレゼンテーション③個人発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
14	9月24日	試験	プレゼンテーション④個人発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント				



科目名	日本語コミュニケーションN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 壮
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部一1年Bクラス	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	玉川国際学院 局長						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※後期は日本語スピーチコンテスト・エドがわーどでの発表を目指します。						
到達目標	①日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 ②日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1)出席率 50% ※授業態度不良の場合は出席率から減点対象とする。 2)評価点 50% ①コンセプト ②クリエイティビティ ③プレゼンテーション ※提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月末	講義と演習	プレイスメントテスト	
2	5月13日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(1)	交換日記(記入と総評黙読)
3	5月20日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(2)	交換日記(記入と総評黙読)
4	5月27日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(3)	交換日記(記入と総評黙読)
5	6月3日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(1)	交換日記(記入と総評黙読)
6	6月17日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(2)	交換日記(記入と総評黙読)
7	6月24日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(3)	交換日記(記入と総評黙読)
8	7月1日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
9	7月8日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
10	7月15日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
11	9月2日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
12	9月9日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
13	9月16日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
14	9月30日	試験	プレゼンテーション試験	交換日記(記入と総評黙読) 課題制作(試験課題は前回授業のもの)
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読) □
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作 □	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント及びデータにて配布				

科目名	コミュニケーションスキルアップ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部ー 1年Cクラス	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。放送大学卒業。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習 内容	社会人になってるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。プレゼンテーション、チーム企画などの力をつける。研修先で必要なコミュニケーション力をつける。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書をかけるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果50%出席率50%(出席率を点数化。ただし公欠による欠席は出席としてカウントします。遅刻が多い場合も減点態度となりますが、遅延の場合を除きます)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	グループワーク:授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	5月14日	講義・演習	グループワーク:好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5月21日	講義・演習	1対1ワーク:トランプトーク。聴く話すの基本を学ぶ	教科書2章を読む
4	5月28日	講義・演習	グループワーク:WHO am I。自己分析	教科書2章を読む
5	6月4日	講義・演習	個人ワーク:エゴグラム。心理テスト	授業後、自己分析のまとめ
6	6月18日	講義・演習	グループワーク:言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6月25日	講義・演習	プレゼン:おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	7月2日	講義・演習	グループワーク:日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
9	7月9日	講義・演習	グループワーク:ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
10	7月16日	講義・演習	グループワーク:ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	9月3日	講義・演習	グループワーク:もし~がなかったら。プレスト会議の基礎	教科書3章を読む
12	9月10日	講義・演習	グループワーク:How much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	9月17日	講義・演習	グループワーク:なぞの宝島・わたしのイメージ	教科書3章を読む
14	9月24日	試験	前期理解度試験	
15	10月1日	講義	全体まとめと反省	
準備学習 時間外学習			基本的には教科書を授業前、後で目を通しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
CSU教科書、配布資料				

科目名	コンピューターベーシック I A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森永みぐ
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部ー 1年Cクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	2000年よりフリーのイラストレーター・漫画家で活動						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム制作における画像素材の扱いを知る</li> <li>・画像の加工の仕組みを知り、企画書やコンテなどの作成に役立てる</li> <li>・絵や図を使いイメージをハッキリさせることや、他人にイメージを正しく伝えられるようにする</li> </ul> 画像ソフトの基本であるphotoshopとillustratorを使い、簡単な画像を作れるようになる						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像ソフトの基本を身に付ける</li> <li>・簡単な絵や図を自分で描けるようになる</li> <li>・画像に関わる制作時間を体感で知りスケジュールのイメージを身につける</li> </ul>						
評価方法と基準	小テスト:30% 評価点(課題評価):70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義と実技	Photoshopの基本操作・ツールの使い方を知る	
2	5月13日	講義と実技	Photoshopで画像データを扱う・解像度、カラーモード、データの種類などの違いを知る	ネットでさまざまな画像を集める
3	5月20日	講義と実技	Photoshopで写真を合成する・レイヤーマスク等で画像加工できる	合成方法の復習
4	5月27日	講義と実技	作業の続き・仕上げ・データの書き出し	
5	6月3日	講義と実技	illustratorの基本操作・ツールの使い方を知る	パスツールの繰り返し練習・復習
6	6月10日	講義と実技	illustratorで図形を扱う・整列、パスファインダーなどを使って絵を描くことができる	
7	6月17日	講義と実技	illustratorでのキャラ制作・ミニキャラなどのオリジナルキャラを描くことができる	キャラ制作
8	6月24日	講義と実技	作業の続き・仕上げ・データの書き出し	
9	7月1日	試験	Photoshop・illustratorの操作確認小テスト	各ツールや操作の確認
10	7月8日	講義と実技	Photoshopとillustratorをあわせて使う・ツールの復習・基本操作をマスターする	
11	7月15日	講義と実技	名刺を作る・トンボや文字ツール、デザインの基本を身につける。	名刺デザインの資料集め
12	9月2日	講義と実技	名刺制作続き	
13	9月9日	講義と実技	名刺仕上げと印刷、配布・名刺交換のマナーを知ることができる	
14	9月16日	講義と実技	プロのデータを見る・実際のイラストがどのようにできているのかを知ることができる。	
15	9月30日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			ツールや操作の確認・復習	
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 宇津木 洋子
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部1年Cクラス	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 1単位	
教員の略歴	日本語教育能力検定試験合格、中学校・高等学校教員専修免許取得(国語科・更新講習受講済)					
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、論理性・独自性・正確性・表現力を養います。 * 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 * 前期はプレゼンテーションができるようになることを目指します。 * 後期は日本語スピーチコンテストでの発表を目指します。					
到達目標	1. 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 2. 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 3. チーム制作で発表原稿を作れるようになる。 4. セルフマネジメント能力を身につける					
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と演習	日本語プレジメントテスト	
2	5月14日	講義と演習	自己紹介①自己紹介ができる	交換日記(記入と総評黙読)□
3	5月21日	講義と演習	自己紹介②クラスメイトの名前を覚える	交換日記(記入と総評黙読)□
4	5月28日	講義と演習	日本語学習の意義①今の能力と必要な能力を知る	交換日記(記入と総評黙読)□
5	6月4日	講義と演習	日本語学習の意義②学習法を紹介する	交換日記(記入と総評黙読)□
6	6月18日	講義と演習	プレゼンへ向けて①緊張しない工夫をする	交換日記(記入と総評黙読)□
7	6月25日	講義と演習	プレゼンへ向けて②持ち時間に合わせて話す	交換日記(記入と総評黙読)□
8	7月2日	講義と演習	プレゼンに向けて③自分の意見を述べる	交換日記(記入と総評黙読)□
9	7月9日	講義と演習	プレゼンに向けて④論理的に話す	交換日記(記入と総評黙読)□
10	7月16日	講義と演習	プレゼンに向けて⑤質疑応答をする	交換日記(記入と総評黙読)□
11	9月3日	講義と演習	プレゼンテーション①グループ発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
12	9月10日	講義と演習	プレゼンテーション②グループ発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
13	9月17日	講義と演習	プレゼンテーション③個人発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
14	9月24日	試験	プレゼンテーション④個人発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント				

科目名	日本語コミュニケーションN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 壮
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部1年Cクラス	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	玉川国際学院 局長						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※後期は日本語スピーチコンテスト・エドがわーどでの発表を目指します。						
到達目標	①日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 ②日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1)出席率 50% ※授業態度不良の場合は出席率から減点対象とする。 2)評価点 50% ①コンセプト ②クリエイティビティ ③プレゼンテーション※提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月末	講義と演習	プレイメントテスト	
2	5月13日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(1)	交換日記(記入と総評黙読)
3	5月20日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(2)	交換日記(記入と総評黙読)
4	5月27日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(3)	交換日記(記入と総評黙読)
5	6月3日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(1)	交換日記(記入と総評黙読)
6	6月17日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(2)	交換日記(記入と総評黙読)
7	6月24日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(3)	交換日記(記入と総評黙読)
8	7月1日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
9	7月8日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
10	7月15日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
11	9月2日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
12	9月9日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
13	9月16日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
14	9月30日	試験	プレゼンテーション試験	交換日記(記入と総評黙読) 課題制作(試験課題は前回授業のもの)
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント及びデータにて配布				

科目名	デッサンII A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小梨貞文
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部 2年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2単位		
教員の略歴	多摩美術大学油画卒業/イラストレーター						
授業の学習 内容	描く前に対象を落ち着いてよく見る。写真撮影やエスキースなどを使用して、構図や画面構成を考える。鉛筆の技術を身につける。鉛筆の種類、芯の硬さの選び方、芯の削り具合、筆圧を変える必然性を学ばせる。時間が丁寧に、正確な表現になるまで描き直す。複数の題材を組み合わせ、質感や色味、形状を比較しその対象の描かれるべき特徴を捉える。モチーフごとの形や色の変化を意識して陰影をつけさせる。						
到達目標	題材の位置関係・質感・固有色・陰影を、鉛筆の選択や筆圧など技法と結びつける。正確に形を捉える能力を養う。構図、画面構成の視覚的効果を実感し、納得のいく構図になるまで描き直す習慣を身につけさせる。陰影を単なる現象として描写するのではなく、形や色を再現する為の表現手段として捉える力を養う。ポートフォリオに入れることのできる完成度のあるデッサンを制作する。イラストに繋がる視覚的意図のある表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	■評価点（課題評価）：100点満点 作品の完成度、提出率、制作態度を考慮し評価点を決定する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月24日	実技	静物 幾何形体 円柱(缶)(1/3)	静物クロッキー
2	5月15日	実技	静物 幾何形体 円柱(缶)(2/3)	〃
3	5月22日	実技	静物 幾何形体 円柱(缶)(3/3)	〃
4	5月29日	実技	静物デッサン ビンと果実(1/3)	静物スケッチ
5	6月5日	実技	静物デッサン ビンと果実(2/3)	〃
6	6月19日	実技	静物デッサン ビンと果実(3/3)	〃
7	6月26日	実技	植物デッサン(野外か写真使用)(1/3)	植物クロッキー
8	7月3日	実技	植物デッサン(2/3)	〃
9	7月10日	実技	植物デッサン(3/3)	〃
10	7月17日	実技	静物デッサン 木製品とボール(1/2)	球体のモチーフをスケッチ
11	9月4日	実技	静物デッサン 木製品とボール(2/2)	〃
12	9月11日	実技	静物デッサン 野菜2種(1/3)	植物スケッチ
13	9月18日	実技	静物デッサン 野菜2種(2/3)	〃
14	9月25日	実技	静物デッサン 野菜2種(3/3)	〃
15	10月2日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
デッサン用具一式(鉛筆・練りゴム・カッター・ガーゼもしくはティッシュ)プリント				

---

東京コミュニケーションアート専門学校

科目名	デッサンⅡC	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	野畑常 義
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部ー 2年Bクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2単位		
教員の略歴	専門学校講師8年						
授業の学習 内容	それぞれのレベルに応じ、デッサン、クロッキーの実習を通して基礎的な形体、空間把握力を身につけて行きます。毎回必ず鉛筆デッサン用具一式を持参してください。						
到達目標	各人が行きたいところまで1年間でかなりレベルアップするように、ほぼ個人指導に近い授業設計を組んでいます。上手になりたい人はどこまでも上手になれるようにバックアップします。またデッサンに自信を持ってない学生も1年間で最低1枚はポートフォリオ素材にすることが出来る作品制作を目指します。						
評価方法と基準	基本的には作品評価ですが、ここに大きな割合で「伸び率評価」を加えています。以前よりどのくらい見て描く力がついたかは大きな指標になります。またこの授業独自の減点項目がありますのでガイダンス時に説明します。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	授業の説明、クロッキー	クロッキー
2	4月26日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー	クロッキー
3	5月10日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー	クロッキー
4	5月17日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー	クロッキー
5	5月24日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー	クロッキー
6	5月31日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー・講評会	クロッキー
7	6月7日	実技	野外スケッチ: 動物園スケッチ	クロッキー
8	6月21日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー	クロッキー
9	6月28日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー	クロッキー
10	7月5日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー	クロッキー
11	7月12日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー・講評会	クロッキー
12	7月19日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー	クロッキー
13	9月6日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー	クロッキー
14	9月13日	実技	デッサン: 静物・石膏・クロッキー・講評会	クロッキー
15	9月27日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				



科目名	デッサンⅢB	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	郷治
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部ー 3年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90時間 3単位		
教員の略歴	東京芸術大学油画卒業／画家口						
授業の学習 内容	デッサン力を向上させることで、より高いレベルでの観察力、造形感覚や他者の視点に対する意識を育む。 「形態」「空間・光」「質感」「構図」を考える。 制作によって経験を積む中で過程で自分の癖や好みを自覚し、弱点を克服したり長所を伸ばす。						
到達目標	「形態」「空間・光」「質感」「構図」を考え、鉛筆で表現できるようになること。 自分のデッサンについて自分の言葉で説明できるようになること(狙いは何か、何が足りないか、など)						
評価方法と基準	「形態」「空間・光」「質感」「構図」 上記項目を表現出来ているかを評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	実技	石膏デッサン(1/2)	人物クロッキー
2	5月14日	実技	石膏デッサン(2/2)	〃
3	5月21日	実技	友人クロッキー	〃
4	5月28日	実技	人物デッサン(女性・着衣)(1/2)	〃
5	6月4日	実技	人物デッサン(女性・着衣)(2/2)	〃
6	6月18日	実技	手と紙コップ(1/2)	手クロッキー
7	6月25日	実技	手と紙コップ(2/2)	〃
8	7月2日	実技	静物デッサン／選択モチーフ(1/2)	日用品クロッキー
9	7月9日	実技	静物デッサン／選択モチーフ(2/2)	〃
10	7月16日	実技	ヌードモデル	自画像クロッキー
11	9月3日	実技	石膏デッサン(1/2)	人物クロッキー
12	9月10日	実技	石膏デッサン(2/2)	〃
13	9月17日	実技	静物デッサン／選択モチーフ(1/2)	日用品クロッキー
14	9月24日	実技	静物デッサン／選択モチーフ(2/2)	〃
15	10月1日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ デッサン用具一式(鉛筆・練りゴム・ガーゼもしくはティッシュ)				

科目名	就職対策B	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	飯田貴寛
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部ー 3年Aクラス	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	CG映像科3DCG I (2017)、ゲーグラ就職対策B(2018～2020)						
授業の学習 内容	【目的】ゲーム業界へ就職する為にポートフォリオの見栄えのみならず、履歴書や面接の対応力を養う。 【他教科との関係、位置付け】日々行っているすべての実技科目が自分の望むキャリア形成の土台となっている事を認識させ、就職活動へ繋げる。 【学生へ】1人でも多く希望する企業へ就職して貰いたい。 【講義の狙い】業界や企業が求めている人材を100点として考えた時、現在の自分が何点なのか客観的に分析させ、不足分の補填を如何に早く対応できるか思考させる。						
到達目標	生徒全員がゲーム業界(またはそれに準じた業界)で内定を頂いている状態						
評価方法と基準	■評価点(ポートフォリオ編集、履歴書制作、企業リサーチ、模擬面接):100点満点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義	ゲーム業界(仕事)の仕組みを説明、職種毎の需要度、内定を取る為の難易度も合わせて説明	
2	5月14日	講義・演習	目指す企業の選定、リサーチ。エントリー、面接の事前準備を行う。	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
3	5月21日	講義・演習	目指す企業の選定、リサーチ。エントリー、面接の事前準備を行う。	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
4	5月28日	講義・演習	第一～第三志望がダメな場合のリカバリー対策。お見送りとなった理由を分析。対応策を講じる。	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
5	6月4日	講義・演習	第一～第三志望がダメな場合のリカバリー対策。お見送りとなった理由を分析。対応策を講じる。	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
6	6月18日	講義・演習	第一～第三志望がダメな場合のリカバリー対策。お見送りとなった理由を分析。対応策を講じる。	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
7	6月25日	講義・演習	第一～第三志望がダメな場合のリカバリー対策。お見送りとなった理由を分析。対応策を講じる。	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
8	7月2日	講義・演習	第一～第三志望がダメな場合のリカバリー対策。お見送りとなった理由を分析。対応策を講じる。	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
9	7月9日	講義・演習	第一～第三志望がダメな場合のリカバリー対策。お見送りとなった理由を分析。対応策を講じる。	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
10	7月16日	講義・演習	夏季休暇前に就活状況の集計を行い、生徒達へ共有。出遅れ組に自覚させ、休暇中の過ごし方を伝える。	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
11	9月3日	講義・演習	夏季休暇中の就活状況と進捗を確認。採用中の企業リサーチとアプローチ。	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
12	9月10日	講義・演習	業界情報、就活情報の共有。採用中の企業リサーチとアプローチ。(この時期の未内定は苦戦が予想される)	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
13	9月17日	講義・演習	業界情報、就活情報の共有。採用中の企業リサーチとアプローチ。(この時期の未内定は苦戦が予想される)	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
14	9月24日	講義・演習	業界情報、就活情報の共有。採用中の企業リサーチとアプローチ。(この時期の未内定は苦戦が予想される)	他科目の課題制作、ポートフォリオ編集、企業リサーチ及び履歴書制作
15	10月1日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	卒業制作	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	砂塚
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部ー 3年Cクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2単位		
教員の略歴	高校生の時よりゲーム開発を行い、OS開発、3D,2D,オンラインの業務用と家庭用とPCゲーム開発、開発インフラ構築、ネットワーク設計や構築、サーバやデータベースの設計や開発を現在でも行なっている。また、新卒採用担当を1995年から2011年まで行う。						
授業の学習内容	卒業制作において、各段階の審査を通過しなければならない。そのために必要な調査や考察、検討方法や手段を質疑応答形式で対応する。						
到達目標	各審査を通過すること。成果物の発表を行うこと。						
評価方法と基準	各章の課題を毎回提出してもらう。目標までの到達状況と課題の提出率で評価する。 1・各審査のプレゼンテーションを重視する。評価比率は50%。 2・各審査に通過しなければならない。評価比率は50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	実技	テーマ審査に向けての個別ディスカッション	ガイダンス・要件洗い出し・調査等をおこなう
2	4月27日	実技	一次審査に向けての個別ディスカッション	要件洗い出し・調査等をおこなう
3	5月11日	実技	一次審査に向けての個別ディスカッション	要件洗い出し・調査等をおこなう
4	5月18日	実技	一次審査に向けての個別ディスカッション	要件洗い出し・調査等をおこなう
5	5月25日	実技	一次審査に向けての個別ディスカッション	要件洗い出し・調査等をおこなう
6	6月1日	実技	一次審査に向けての個別ディスカッション	要件洗い出し・調査等をおこなう
7	6月8日	実技	一次審査に向けての個別ディスカッション	要件洗い出し・調査等をおこなう
8	6月15日	実技	一次審査に向けての個別ディスカッション	要件洗い出し・調査等をおこなう
9	6月22日	実技	一次審査に向けての個別ディスカッション	調査等をおこなう
10	6月29日	実技	二次審査に向けての個別ディスカッション	調査等をおこなう
11	7月6日	実技	二次審査に向けての個別ディスカッション	調査等をおこなう
12	7月13日	実技	二次審査に向けての個別ディスカッション	調査等をおこなう
13	9月7日	実技	二次審査に向けての個別ディスカッション	調査等をおこなう
14	9月14日	実技	二次審査に向けての個別ディスカッション	調査等をおこなう
15	9月28日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				